

(31) にんじん

病害虫	防除法	参考事項
<p>乾腐病(フザリウム属菌によるしみ)</p>	<p>(耕種的・物理的防除)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 連作を避ける。 2 排水を良くする。 3 ほ場に発病株を残さない。 <p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 バスアミド/ガスタード微粒剤(で土壤消毒する(共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照)。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 12月は種では、TCH-711は比較的強い。 ○ 秋冬どりでは、ベーター441、TCH-711が強い。 ○ 激発ほ場では土壤消毒のみでは防除が困難であるため、は種時期を12月から2月にずらし、併せて感受性の低い品種を用いる。
<p>黒葉枯病</p>	<p>(予防に関する措置)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 健全な種子を使用する。 2 連作を避ける。 3 多湿とならないよう、ほ場の排水を良好に保つ。 4 肥料切れにならないよう、適正な施肥管理を行う。 <p>(判断、防除に関する措置)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。 2 農薬を使用する場合には、同一系統の薬剤の連続使用を避け、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。さらに、地域内で薬剤抵抗性等が確認されている薬剤の使用判断については指導機関の指示に従う。 <p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 下記の薬剤のいずれかを7～10日おきに2～3回散布する。 <p style="text-align: center;">薬剤名</p> <hr/> <p>アフエットフロアブル</p> <hr/> <p>カンタスドライフロアブル</p> <hr/> <p>ジマンダイセン水和剤/ペンコゼブ水和剤</p> <hr/> <p>ストロビーフロアブル</p> <hr/> <p>ダコニール1000</p> <hr/> <p>ファンタジスタ顆粒水和剤</p> <hr/> <p>ベルコートフロアブル</p> <hr/> <p>ポリオキシンAL水和剤</p> <hr/> <p>ポリバリン水和剤</p> <hr/> <p>ロブラール水和剤</p> <hr/>	
<p>黒斑病</p>	<p>(耕種的・物理的防除)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 肥料切れさせない。 	
<p>しみ腐病(ピシウム菌によるしみ)</p>	<p>(耕種的・物理的防除)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 連作を避ける。 2 排水を良くする。 3 梅雨後期に多発しやすいので、収穫時期を遅らせない。 4 ほ場内に発病株を残さない。 <p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 バスアミド/ガスタード微粒剤で土壤消毒する(共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照)。 2 ユニフォーム粒剤を全面土壤混和する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ベーター441は強い。

病害虫	防除法	参考事項
根腐病 (リゾクトニア菌によるしみ)	(耕種的・物理的防除) 1 連作を避ける。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 リゾレックス粉剤又はユニフォーム粒剤を全面土壌混和する。	
斑点病	(薬剤防除) 農薬登録情報 1 下記薬剤のいずれかを7～10日おきに2～3回散布する。 <hr/> 薬剤名 カンタスドライフロアブル ストロビーフロアブル ベルクートフロアブル ポリバリン水和剤	
紫紋羽病	・収穫時に発病箇所を目印をしておき、土壌消毒する(共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項 を参照)。	
軟腐病	・土壌線虫(共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項 を参照)や土壌害虫を防除しておく。 (耕種的・物理的防除) 1 多発畑には連作しない。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 微生物殺菌剤 <hr/> 薬剤名 マスタピース水和剤 <hr/> 2 下記薬剤のいずれかを散布する。 <hr/> 薬剤名 カッパーシン水和剤/カスミンボルドー スターナ水和剤	
アブラムシ類	(薬剤防除) 農薬登録情報 1 気門封鎖剤 <hr/> 薬剤名 エコビタ液剤 オレート液剤 サフオイル乳剤 サンクリスタル乳剤 粘着くん液剤 フーモン ムシラップ <hr/> 2 下記薬剤のいずれかを散布する。 <hr/> 薬剤名 エルサン乳剤 アドマイヤー顆粒水和剤 スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	

病害虫	防除法	参考事項													
ネキリムシ類	<p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <ol style="list-style-type: none"> ガードベイトAを株元散布する。 フォース粒剤を全面土壌混和又は作条土壌混和する、又はダイアジノン粒剤5を全面土壌混和する。 														
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ハスモンヨトウ</div>	<p>(予防に関する措置)</p> <ol style="list-style-type: none"> 防虫ネット等の使用により、成虫の飛来及び産卵を防ぐ。 ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。 施設栽培では、成虫の侵入防止対策として、換気窓等の施設開口部への防虫ネットによる被覆や防蛾(が)灯(黄色灯)の夜間点灯を行う。 施設栽培においては、栽培終了後に蒸込み処理を行う。 <p>(判断、防除に関する措置)</p> <ol style="list-style-type: none"> 卵塊や若齢幼虫が群生している葉を見つけ次第、除去する。 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。 農薬を使用する場合には、同一系統の薬剤の連続使用を避け、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。さらに、地域内で薬剤抵抗性等が確認されている薬剤の使用判断については指導機関の指示に従う。 作物残さを適切に処分する。 <p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 交信かく乱剤 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: center;">薬剤名</th> </tr> <tr> <td>ヨトウコンーH</td> </tr> <tr> <td>コンフェューザーV</td> </tr> </table> BT剤 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: center;">薬剤名</th> </tr> <tr> <td>エコマスターBT</td> </tr> <tr> <td>クオークフロアブル</td> </tr> <tr> <td>サブリーナフロアブル</td> </tr> <tr> <td>デルフィン顆粒水和剤</td> </tr> <tr> <td>フローバックDF</td> </tr> </table> 発生初期のうちに、下記薬剤のいずれかを散布する。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: center;">薬剤名</th> </tr> <tr> <td>アクセルフロアブル</td> </tr> <tr> <td>アフアーム乳剤</td> </tr> <tr> <td>プレオフロアブル</td> </tr> </table> 	薬剤名	ヨトウコンーH	コンフェューザーV	薬剤名	エコマスターBT	クオークフロアブル	サブリーナフロアブル	デルフィン顆粒水和剤	フローバックDF	薬剤名	アクセルフロアブル	アフアーム乳剤	プレオフロアブル	
薬剤名															
ヨトウコンーH															
コンフェューザーV															
薬剤名															
エコマスターBT															
クオークフロアブル															
サブリーナフロアブル															
デルフィン顆粒水和剤															
フローバックDF															
薬剤名															
アクセルフロアブル															
アフアーム乳剤															
プレオフロアブル															
ハモグリバエ類	<p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <ol style="list-style-type: none"> スタークル/アルバリン粒剤を播溝土壌混和する。 アフアーム乳剤又はスピノエース顆粒水和剤を散布する。 														

病害虫	防除法	参考事項															
<p>ヨトウムシ (ヨトウガ)</p>	<p>(予防に関する措置)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 防虫ネット等の使用により、成虫の飛来及び産卵を防ぐ。 2 ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。 3 施設栽培では、成虫の侵入防止対策として、換気窓等の施設開口部への防虫 ネットによる被覆や防蛾(が)灯(黄色灯)の夜間点灯を行う。 4 施設栽培においては、栽培終了後に蒸込み処理を行う。 <p>(判断、防除に関する措置)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 卵塊や若齢幼虫が群生している葉を見つけ次第、除去する。 2 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に 薬剤散布等を実施する。 3 作物残さを適切に処分する。 <p>(薬剤防除) 農薬登録情報 【ヨトウムシ】・【ヨトウガ】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 交信かく乱剤 <table border="1" data-bbox="359 683 1121 761"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コナガコンープラス</td> <td>ヨトウガでの登録</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 生物農薬</p> <table border="1" data-bbox="359 828 742 1019"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>エコマスターBT</td></tr> <tr><td>クオークフロアブル</td></tr> <tr><td>サブリーナフロアブル</td></tr> <tr><td>フローバックDF</td></tr> </tbody> </table> <ol style="list-style-type: none"> 3 下記薬剤のいずれかを散布する。 <table border="1" data-bbox="359 1086 742 1310"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>アグロスリン乳剤</td></tr> <tr><td>カスケード乳剤</td></tr> <tr><td>コテツフロアブル</td></tr> <tr><td>フェニックス顆粒水和剤</td></tr> <tr><td>ロムダンフロアブル</td></tr> </tbody> </table> 	薬剤名	備考	コナガコンープラス	ヨトウガでの登録	薬剤名	エコマスターBT	クオークフロアブル	サブリーナフロアブル	フローバックDF	薬剤名	アグロスリン乳剤	カスケード乳剤	コテツフロアブル	フェニックス顆粒水和剤	ロムダンフロアブル	
薬剤名	備考																
コナガコンープラス	ヨトウガでの登録																
薬剤名																	
エコマスターBT																	
クオークフロアブル																	
サブリーナフロアブル																	
フローバックDF																	
薬剤名																	
アグロスリン乳剤																	
カスケード乳剤																	
コテツフロアブル																	
フェニックス顆粒水和剤																	
ロムダンフロアブル																	
<p>ヒョウタンゾウムシ類</p>	<p>(耕種的・物理的防除)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 成虫を捕殺する。 <p>(薬剤防除) 農薬登録情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 成虫の発生時期に、コテツフロアブル又はアクセルフロアブルを散布、トクチオン細粒剤Fを株元散布する。 2 トビイロヒョウタンゾウムシには、スタークル/アルパリン顆粒水溶剤を株元かん注する。 																

病害虫	防除法	参考事項																												
センチュウ類	・ 共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項 を参照する。 (薬剤防除) 農業登録情報																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="354 286 802 322">薬剤名</th> <th data-bbox="802 286 1147 322">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="354 322 802 358">DC油剤/D-D/テロン</td> <td data-bbox="802 322 1147 358"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="354 358 802 394">バイデートL粒剤</td> <td data-bbox="802 358 1147 394"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="354 394 802 430">ネマキック粒剤</td> <td data-bbox="802 394 1147 430"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="354 430 802 465">ネマトリンエース粒剤</td> <td data-bbox="802 430 1147 465"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="354 465 802 501">ビーラム粒剤</td> <td data-bbox="802 465 1147 501"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="354 501 802 537">石灰窒素50</td> <td data-bbox="802 501 1147 537"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="354 537 802 573">石灰窒素55</td> <td data-bbox="802 537 1147 573"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="354 573 802 609">粒状石灰窒素55</td> <td data-bbox="802 573 1147 609"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="354 609 802 645">カルメート55</td> <td data-bbox="802 609 1147 645"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="354 645 802 680">カルメート60</td> <td data-bbox="802 645 1147 680"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="354 680 802 716">粒状石灰窒素40</td> <td data-bbox="802 680 1147 716"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="354 716 802 752">粒状石灰窒素</td> <td data-bbox="802 716 1147 752">ネコブセンチュウのみ登録</td> </tr> <tr> <td data-bbox="354 752 802 788">石灰窒素50防散</td> <td data-bbox="802 752 1147 788">ネコブセンチュウのみ登録</td> </tr> </tbody> </table>		薬剤名	備考	DC油剤/D-D/テロン		バイデートL粒剤		ネマキック粒剤		ネマトリンエース粒剤		ビーラム粒剤		石灰窒素50		石灰窒素55		粒状石灰窒素55		カルメート55		カルメート60		粒状石灰窒素40		粒状石灰窒素	ネコブセンチュウのみ登録	石灰窒素50防散	ネコブセンチュウのみ登録
	薬剤名		備考																											
	DC油剤/D-D/テロン																													
	バイデートL粒剤																													
	ネマキック粒剤																													
	ネマトリンエース粒剤																													
	ビーラム粒剤																													
	石灰窒素50																													
	石灰窒素55																													
	粒状石灰窒素55																													
	カルメート55																													
	カルメート60																													
	粒状石灰窒素40																													
粒状石灰窒素	ネコブセンチュウのみ登録																													
石灰窒素50防散	ネコブセンチュウのみ登録																													